

「ものづくり経営学」講義終了後質問への回答

2022年11月10日

株式会社プレシード

代表取締役会長CEO 松本修一

*慌ただしい講義になってしまったのにも関わらず、多くの質問有難うございます。急ぎ何とか回答いたしますが、正鵠を得た回答とはなっていないであろうし、あくまで私個人の見解であることを前提に読んでいただければ幸いです。

1. 経営の危機をチャンスに変えたことはありますか。

Ans. チャンスが危機になることは多いのですが、危機が危機以上になることは少なく寧ろチャンスになります。乗り越えた危機は全てチャンスでした。経験と成長という財産を手に入れたのですから…、答えになっていないかもしれませんが。

2. 経営のチャンスと危機を見分けるコツはありますか。

Ans. チャンスは危機の始まりが多いと思います。但し、チャンスは危機を自分の能力と知識、気力で何とかすると決意した時にチャンスに生まれ変わらせることが出来ると思います

3. 今まで起こったことで一番恐ろしかったこと、これはだめかもしれないと思ったことはありますか

Ans. 講義で話したように立て続けに困難が襲い、自分のあらゆる金を注ぎ込んで更に資金が不足した時です。経営の最期は全て金不足で終わりますが、その状況で諦めないで正面から自分の能力と誠実さをもって未来を関係機関に説明することです

4. 変化こそチャンスということですが、何か具体的に変化をチャンスに変えた経験はありますか

Ans. 変化ではそれまで後塵を拝していた分野ではなく、新しいことが始まった時に同じスタートラインに立つチャンスがあります。勿論、持っている力には限りがありますが新参加者が参加できるチャンスです。液晶パネル、ソーラーパネル、そして最近のEV車バッテリーなど、小さな会社ではあっても出来る範囲での新規参入を捉えてきました。

5. 仕事をする時に心がけていた、または心がけていることはありますか？

Ans. 早く情報や状況を掌握し、選択肢が多く持てる期間にじっくりと考える時間を持つ。

6. コロナウイルスが広がった当初、今までに経験のないことから様々な対応が必要だったかと思いますが、逆にコロナ禍になったことでプラスになったことはありましたか？

Ans.きわめて活動が制約されたので受注開発機会が激減したので自社開発商品“プレシールド”を販売展開できた実績は、業務を受注生産だけでなく開発商品の販売分野にも広げられた。

7. 経営者はどのような心構えが必要ですか。

Ans. 自分を信じて付いてきている社員がいること、自分を信じて支援してくれる社外の人や会社がある事を自覚し後悔させないという決意でしょうか。

8. どのような人材がこれから活躍すると思いますか？

Ans.社会はIT系、ソフト開発系の人材は当面引っ張りだこでしょうが、競争も多く弱肉強食世界で若い間に使い捨てになるかもしれません。多様な人脈を持ち古今東西の知識を持ち発言に責任をもって行動し、未来を予測アドバイスできるような人財になれば常に世に求められるでしょう。難しいでしょうが(笑)。つまりいつの世も自分を磨いた人です

9. 不況時の経営の立て直しで一番苦勞したことは何ですか。

Ans.ありきたりですが資金繰りですが、それだけではお金は増えません。人心を纏めて未来への希望と活力を創り出すことです。

10. お金の勉強を一切せずに経営を始めたことで、困ったことはありますか？

Ans.世の中に補助金・助成金などの制度があることを全く知りませんでした。銀行借り入れの種類やしきみも知らなかったので随分無駄も多い資金繰りだったと思います。今もかもしれません。

11. これから会長として、会社をどのように支えていかれますか。挑戦したいことはありますか。

Ans.私が居なくても発展し続ける会社になる仕組みづくりが最大の支援であり挑戦課題です。広く会社を社会の資産にしたいものです。

12. 起業したきっかけはなんですか。

Ans.自分が思ったことを手掛けることが出来る場が欲しかったが、若手社員の立場ではは機会も予算も時間も得られませんでした。“心より我に働く仕事あれそれをし遂げて死なんと思う”～啄木～ の思いでした。

13. 御社で一番負けていないと思う製品は何ですか？

A n s . 世界が一つの市場になってしまった現代でオンリーワンなどいえる製品も技術もありますが、最後までやり遂げる開発企業文化が財産です

つつつつつつつつつつつつつつつつつつつつ f

14. 世界中の情報をつかむことが大切だと思いますが、どのように情報収集していますか。

A n s . 現在は情報は求めれば世界からあらゆる情報がインターネットで居ながらに集めることが出来ますしTV・新聞などのマスコミ情報も重要です。インターネットは時としてフェイクもありマスコミも恣意的であることも用心しながら。何を求めるかの元となる知識情報は人脈との雑談にあるかもしれません。

15. 何を守って何をあきらめるかの基準は何ですか？

A n s . 追いかけるものが自社の未来に大きなものをもたらすのか、目先の延長に過ぎないのか。変わることはキツイことですが、今だけではなく未来にとって価値あるかないかが重要だと思います。

16. 仕事をしてきた中で最もやりがいを感じたのはどんな時でしたか？

A n s . 開発が完成して依頼してくれた人たちが喜んでお礼を言ってくれた時、社員がやり遂げての笑顔を見た時に選択した経営の判断に喜びを感じます

17. 京セラと事業内容が似ていたり、お考えが少し稲盛和夫さんに似ているように感じましたが、参考にされてきたことなどはありますか？

A n s . 事業内容が似ているとも思いませんが事業形態や思いは似てると思います。だから創業時からずっと参考にしてきました。何故なら多くの経営者の本で最も自分の自然な発想に近かったからです。今もあまり利益が大きいビジネスとはなりません、取引もずっと続いています。何故なら素晴らしい会社だから

18. 大学生のうちにしておくべきことはありますか？

A n s . 道を究めるより視野を広めることを勧めます。慣れたアルバイトを続けるよりアルバイトは次々と転職した方がいいと思います。それが学生時代の特権です。留学でなくてもいいので海外体験を早く多く持ち、日本の常識と世界の常識が違うことを体験すること。

19. 会社で一番大事なことは何でしょうか。(顧客・利益・従業員など)

A n s . 人が成長し続ける機会を与えられる会社であること。私は社是・経営理念で謳う「感動、活人、感謝、創造、挑戦」を大事にしています。

20. 急成長を遂げる企業とそうでない企業とでは何が違うとお考えですか。

A n s . 目先の利益を追わないこと、小さな成長に満足して慢心しないことが重要だと思います。何を実現したいか、大きな未来目標をもって追いかけている企業かどうかだと思います。

21. 次世代どんなことを託したいことはありますか。

A n s . 私欲や未練かもしれませんが、社是・経営理念の浸透と発展で社会に貢献できる会社に育ててもらいたい。「正しかれ恐れるな」の精神でしょうか

22. これから伸びるであろう企業や注目されている企業はありますか？

A n s . このままでは伸びない、失敗するだろうという会社はありますが必ず成功する会社は断言できません。むかし、全国や世界でデビューしたてだった日本電産、ソフトバンク、ユニクロ、テスラなどは予想通り巨大企業になりました。経営者の事業に対する思いと運営手法がどの会社も他の業界企業とは違いました

23. 円安が進んでいく日本は今後どうなるとお考えですか。

A n s . 全てにプラスも あればマイナスもあります。円安が続くのであればそれを活かすことは沢山ありますが、やがて円高に向いたときに方向転換を遅れないことです。私は円安というよりその原因である低金利政策を指示します。

24. 今後の夢をお聞かせください

A n s . 社員でも社外の人でもいいのですが、創業者として経験したことを伝え後進を育てること。“寄らば大樹の陰”ではなく、夢実現のために人生を挑戦の場にしたい人に自分の経験を伝え残すこと。

25. 御社は社員のことをどのような存在として考えていらっしゃいますか？

A n s . 私は自分がサラリーマンだったこともあり、仲間だとす。思っています。しいて言えばクラブ活動の同級生リーダー程度、同格で議論したいと思っています。しかし情報量や経験、立場からそうもいかないようです。社員の皆には賃金を得ることが目標ではなく、仕事を自分を成長させる場にしてもらいたいと願っています。

26. 学生のうちにやった方がよいことはありますか

A n s . 18の質問への回答に同じです。追加すれば日経新聞を読むこと。世界の常識が

忸意少なく一番冷静に学べると思います

27. 時代の変化に対応していくには大学生のうちからしておいた方が良いことはありますか？

ANS. 18, 26の質問への回答に同じです。

28. コロナや熊本地震以外で会社として大変だったことは何ですか？

ANS. 創業以来ずっと続いている思いは会社の不足している部分、劣っている部分、遅れている部分を知り改善すること。素人が作った会社なので(笑)、投資と資金調達。

大きな事件では15年くらい前に起きた社内横領事件。莫大な資金喪失と社内での人心離反工作として、社員に経営の嘘を並べ立て、有能人財を離反させ破綻に導き横領の発覚を回避しようとされたこと。回復にはずいぶん時間がかかりました。本人は刑務所に行きましたが、資金は戻ってこないで失跡しました。